

コーズウェイポイント・ショッピングセンター改修工事



東急建設(株)国際事業部 コーズウェイポイント・ショッピングセンター改修工事 シニアプロジェクトマネージャー

田中勝志

Katsushi Tanaka



世界で活躍する日本の建設企業



円形大空間吹抜部



南側外観(工事着工前)



南側外観(完成予想)

シンガポール共和国の紹介

世界的な経済不況が続く中、シンガポールの観光産業は、ここ二年急上昇を続けており、長期的な計画のもと、観光産業を国家戦略として発展させてきている。

二〇一〇年に開業した外資系のカジノやマリナーベイサンズホテルの成功により、シンガポールに入国した外国人は二〇一〇年には約一、一六三万人と、順調に増加している。

今後も同施設の周辺において、娯楽施設、コンドミニアムの建設、地下鉄、道路の整備等が立案されており、建設市場は活況を維持していくと考えられる。日本の建設業者の海外建設工事受注実績においてシンガポールは常に上位を維持しており、今後も受注が期待されているが、中国、香港、韓国をはじめとする外国勢との競争が激しさを増しており、より一層の創意工夫が求められる。

プロジェクトの紹介

本プロジェクトは、一九九八年に建設された国内第七位の規模(テナント数二五〇)の郊外型ショッピングセンターの改修工事である。シンガポール最北部、一日最大約三〇万人もの人々が往復するマレーシアへの玄関口として有

名なウッドランドの中心部に位置するMRT(都市と近郊を結ぶ大量高速輸送)駅及びバスのインターチェンジに隣接する地で、常に多くの客で賑わっており、営業しながらの施工には細心の注意を払っている。

工事概要

建物は、延床五八、〇〇〇平方メートル、地下二階、地上七階建てであり、改修工事内容は、大空間吹抜部改修工事、共用部分改修工事、設備機器撤去・新設工事、外装改修工事他となっている。工事は二〇一〇年六月に着手したが、全ての工事において、施設管理者に事前に承認を得てから着工する必要がある。解体や共用部分の工事については、営業時間を避けて夜間作業とし、開店の二時間前までに作業を終了し、入念な点



北側外観(完成予想)

検を経て営業開始を迎えなければならない。

さらに、閑静な住居地域内のため、騒音、振動に対する厳しい制約や北側にMRTの駅が隣接しているため、事前に入念な打合せの必要性等、作業進捗の難しさを日々実感している。

当プロジェクトにおいて、最も慎重な管理を要求されたのがメインエントランスに面し、中心的な存在となる円形大空間吹抜部の改修工事である。足場の設置等、客足に影響がないように安全かつ短期間での工事完了が要求されたが、最後に足場を解体した際には、社員他関係者一同、爽やかな気持ちを味わうことが出来た。

結びに

シンガポールは、多民族国家であり、言葉や文化の問題による弊害を避けて通ることが出来ない。特に今回のプロジェクトは、新築工事と違い第三者近接作業が多く、また、短期間で完了させる必要があったため、日々の打合せにおける調整が非常に重要で、「指示事項を出来る限り分かり易く、細かく」をモットーとした。品質、工程、安全等全てにおいて厳しい現場であるが、本年十一月の引渡し完了まで気を緩めず管理し、工事中も竣工後も利用者に愛されるショッピングモール「創り」に貢献したいと考えている。